

学校教育 I C Tビジョンとは…

大阪市教育振興基本計画に基づき、令和4年度から7年度までの4年間を対象に、I C Tの活用推進の基本的な考え方と、進めるべき方向性を明らかにし、必要な施策や事業について4つの基本方針のもと、具体的な取組方を示しています。

めざす子ども像



I C T機器を活用しながら知識の理解の質をさらに高めるために、学習者用端末等を効果的に活用することにより、協働学習や個別学習の充実を図り、主体的に学び、自らの考えを伝えとともに、他者の考えを理解し、多様な人々と協働して問題を解決しようとする子ども

具体的な取組方策

具体的な取組例

基本方針1

問題発見・解決のプロセスにおける
I C T活用

- ①情報活用能力の育成
- ② I C Tを効果的に活用した学習の充実



- ・教科横断的に情報活用能力を育成、実践事例を活用した情報モラル教育の推進、プログラミング教育の実施(P17)
- ・協働学習支援ツールを使った議論や、グループでの共同制作などの学習活動(P18)
- ・家庭学習の充実(P18)

基本方針2

個別最適な学びにおける I C T活用

- ③デジタル教材等による個に応じた学習の充実
- ④校務系データと学習系データの連携・学びの可視化
- ⑤遠隔・オンライン教育の推進



- ・デジタルドリル等を活用した個に応じた学習の充実や、自主学習習慣と家庭学習習慣の定着(P20)
- ・学習履歴及び生活履歴の連携・可視化による、きめ細やかな指導と教育の質の向上(P21)
- ・国際交流、学校間交流、専門性の高い外部講師などによる遠隔授業や、不登校児童生徒などへのオンライン学習の実施(P22)
- ・危機管理対応下における、ICTを活用した学びの保障の実現(P22)

基本方針3

安全・安心な教育環境の実現に向けた
I C T活用

- ⑥学校生活状況等の可視化
- ⑦いじめアンケートと相談申告のオンライン化



- ・「心の天気」や児童生徒の生活指導の状況、出欠状況、保健室の来室状況等の可視化
- ・いじめアンケート、相談申告のオンライン化により、児童生徒の一人ひとりに応じた指導・支援を実現(P23)

基本方針4

学びを支える I C T環境の整備

- ⑧ネットワーク基盤の安定的な稼働
- ⑨学習者用端末等の整備
- ⑩効果的な学習用ツール・先進技術の導入
- ⑪ I C T機器活用における支援体制の構築



- ・ネットワーク基盤・学習者用端末等の整備など、校内・家庭等いつでもどこでも学習が可能な環境の構築(P24)
- ・デジタルドリルをはじめとするデジタル教材等の整備及び効果的な活用の検討(P25)
- ・特別支援教育、日本語指導の必要な児童生徒への支援に向けたICT活用(P27)
- ・ビッグデータを複合的・多面的に分析・検証することが可能となる仕組みの構築(P28)
- ・教員研修や、ICT教育推進アドバイザーによる授業改善助言等、円滑な活用支援を実施(P29)

大阪市学校教育ICTビジョン方針と体系について

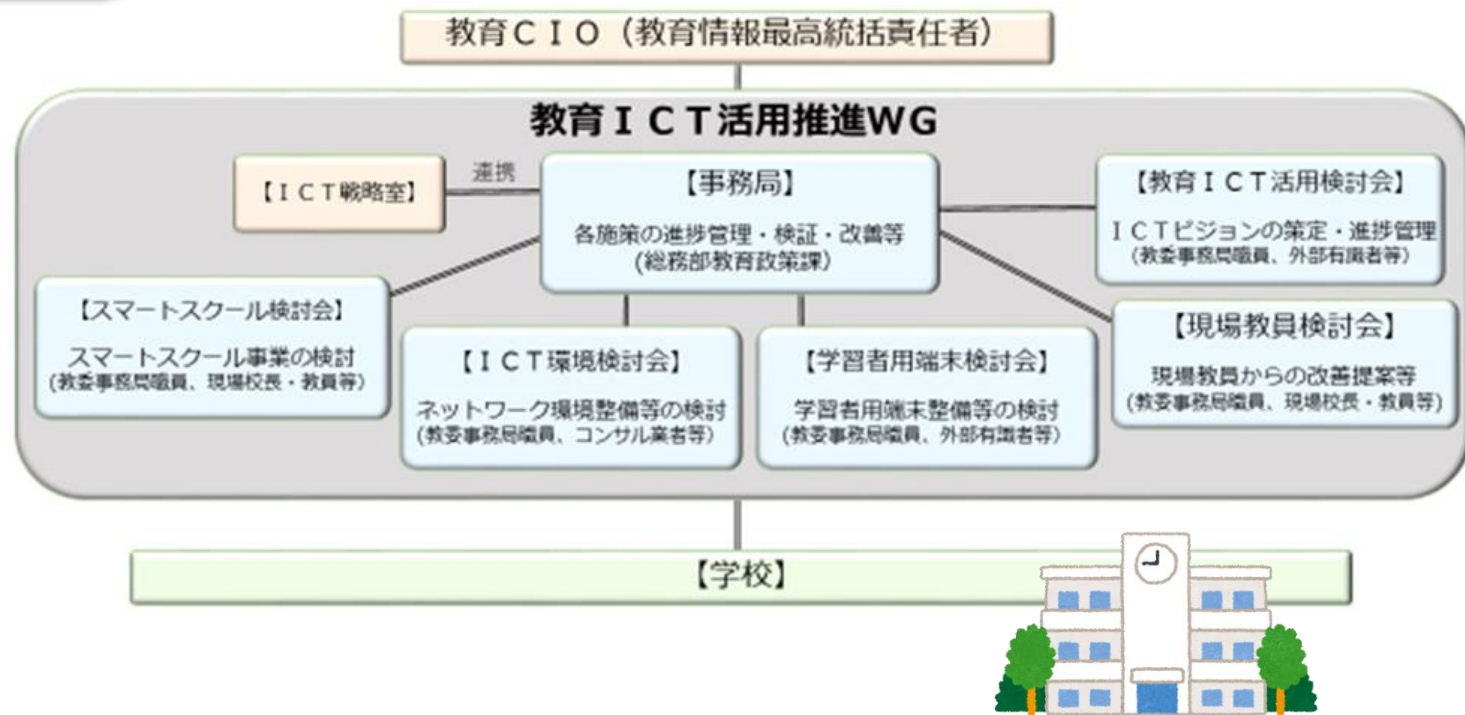
ICT活用の推進体制・進行管理 (P30)

<教育委員会での取組>

本計画の着実な推進と不断の見直しを図るため、教育CIO（教育情報最高統括責任者）のリーダーシップのもと、教育ICT活用推進WGが中心となり、各施策を進捗管理・検証・改善し、PDCAサイクルを循環させることにより、最適なICT教育を推進

<学校での取組>

各校が重点的に取組む目標である「全市共通目標」の一つであるICTの活用に関する目標を、各校の状況に応じ、運営に関する計画において設定し、検証・改善を図りながら学校運営を実施



ICT機器活用における支援体制の構築 (P29)

校長が学校CIO（情報化の統括責任者）としてリーダーシップを発揮しつつ、学校教育ICT推進リーダーやICT教育担当教員を活用しながら、学校全体でICT活用を積極的に推進
本市全体においても適切な推進体制を構築し、ICTを活用した指導力向上のための研修や、ICT教育推進アドバイザーの指導助言等、校長自らが学校CIOとして活躍できるよう支援

